

令和6年度 経営発達支援事業評価報告書

【実施期間】

令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）

【経営発達支援計画とは】

小規模事業者の技術の向上、新たな事業の分野の開拓その他の小規模事業者の経営の発達に特に資するものについての計画を作成し、これを経済産業大臣の認定を受け、小規模事業者の需要を見据えた経営の促進と販路開拓が主な内容で、更には小規模事業者の持続的発展から、地域経済の活性化を目指す。

【経営発達支援計画の目標】

- ① 意欲ある事業者を見極め、地域の核を担える事業者の育成
- ② 経営資源を活用した新たな販路開拓による小規模事業者の経営力向上
- ③ 地域活性化につながる新規創業者掘り起こし、事業承継支援による新陳代謝促進



【奥州商工会議所経営発達支援計画評価委員会委員】 令和7年3月31日現在

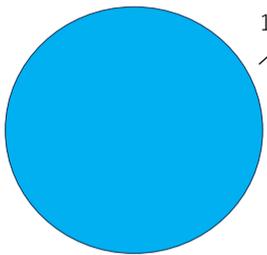
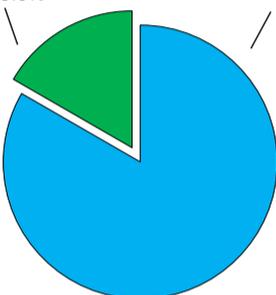
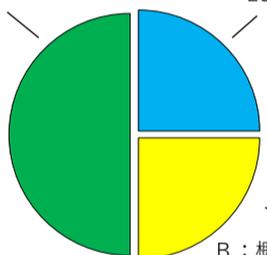
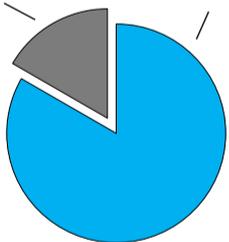
No	職名	氏名	役職等
1	委員長	菊地 浩明	奥州商工会議所 専務理事
2	委員	山本 卓美	岩手県南広域振興局 経営企画部長
3	委員	佐々木 啓二	奥州市 商工観光部長
4	委員	及川 和人	(税)及川会計 代表社員税理士(税理士・商工調停士)
5	委員	高橋 雅裕	(株)高橋コンサルティングオフィス 代表(中小企業診断士)

【評価】

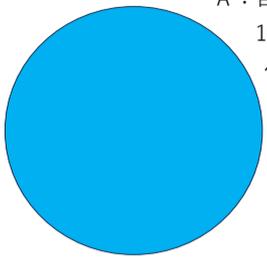
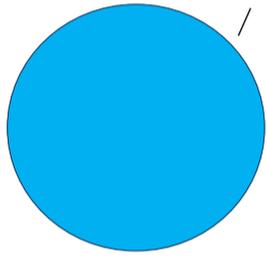
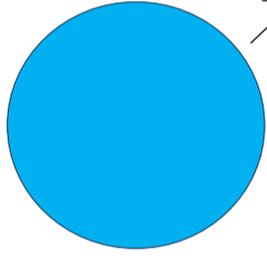
A:目標達成 (90%以上)	B:概ね達成 (70%~89%)	C:半分程度達成 (50%~69%)	D:未達成 (1%~49%)	E:未着手 (0%)
--------------------------	----------------------------	------------------------------	--------------------------	----------------------

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること	目標	実績	評価	【 評価割合 】 A : 目標達成 100.0%
(1) 奥州市景気動向調査（四半期毎）の実施	実施回数 4回	4回	A	
(2) 地域経済動向分析の実施	実施回数 1回	1回	A	
(3) 地区懇談会（年4回）の実施	実施回数 4回	4回	A	
2. 需要動向調査に関すること	目標	実績	評価	【 評価割合 】 A : 目標達成 100.0%
(1) ふるさと納税返礼品アンケート調査 ※支援先：(資)後藤屋、菊泉堂	支援事業者数 2者	2者	A	
(2) チャレンジショップを活用したニーズ調査 (地元商業高校生等のチャレンジショップを活用した調査) ※支援先：(資)後藤屋、菊泉堂	支援事業者数 2者	2者	A	

3. 経営状況の分析に関すること		目標	実績	評価	
(1) 経営分析対象事業者の掘り起こし (経営分析による経営状況を見つめ直すきっかけをつくる)		分析事業者 85者	100者	A	<p>【 評価割合 】</p> <p>A : 目標達成 100.0%</p> 
4. 事業計画策定支援に関すること		目標	実績	評価	
(1) 事業計画策定の支援 (経営計画書、創業計画書等)		策定事業者数 50者	25者	C	<p>【 評価割合 】</p> <p>C : 半分程度達成 25.0%</p> <p>A : 目標達成 75.0%</p> 
(2) DX推進セミナーの開催 ※開催日：令和6年10月18日(金)		実施回数 1回	1回	A	
(3) 事業計画策定セミナーの開催 ※開催日：令和6年9月4日(水)		実施回数 1回	1回	A	
(4) 創業計画策定セミナーの開催 ※開催日：令和6年12月4日(水)		実施回数 1回	1回	A	
5. 事業計画策定支援後の実施支援に関すること		目標	実績	評価	
(1) 事業計画策定支援後のフォローアップ (計画の進捗状況、実施後の財務状況等)		事業者数 50者	53者	A	<p>【 評価割合 】</p> <p>C : 半分程度達成 50.0%</p> <p>A : 目標達成 25.0%</p> <p>B : 概ね達成 25.0%</p> 
		延べ回数 200回	171回	B	
		売上増加 事業者数 30者	15者	C	
		経常利益率 増加事業者 30者	15者	C	
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること		目標	実績	評価	
(1) 展示商談会への出展支援事業 (B to B) 「ビジネスマッチ東北」出展支援 ※支援先：ヨンボファクトリー、(資)後藤屋、(株)上小田代		出展事業者数 3者	3者	A	<p>【 評価割合 】</p> <p>D : 未達成 16.7%</p> <p>A : 目標達成 83.3%</p> 
		成約件数 1者	1者	A	
(2) ふるさと納税寄付金制度を活用した 販路開拓支援事業 (B to C) ※新規登録者：民宿おつきり、(株)及甚、はとむねコーヒー ヨンボファクトリー		新規登録者 3者	4者	A	
		売上増加率 10%	26%	A	
(3) 支援サイトを活用した取引先拡大支援事業 (B to B・ザビジネスモールの活用)		登録者数 (累計) 40者	41者	A	
		成約件数 1者	商談中 11件	D	

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

<p>1. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>(1) 岩手県・奥州市・商工調停士・中小企業診断士等の外部有識者を含めた評価委員会を開催し、各種事業の進捗状況・成果について評価・検証を行い見直しに向けての意見交換を行う。</p> <p>(2) 評価・見直しの結果については、正副会頭会議へ報告のうえ当所ホームページへ掲載し、広く閲覧できる状態とする。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>【 評価割合 】</p>  <p>A : 目標達成 100.0% /</p>
<p>2. 経営指導員等の資質向上等に関すること</p> <p>(1) 外部研修の積極的活用 (中小企業大学校、経営指導員全国研修会、指導員研修等)</p> <p>(2) セミナー参加、専門家との帯同によるスキル習得 (個別事案のノウハウ、支援時の話術、考えを引き出す手法の習得)</p> <p>(3) DX推進に向けた相談・指導能力の習得 (DX推進の相談・指導力向上のためのセミナー等への参加)</p> <p>(4) 経営指導員連絡会議による情報共有 (事業の進捗状況の確認、支援の方向性の共有、支援ノウハウの向上)</p> <p>(5) 組織内における支援情報の共有・データベース化 (TOAS・商工会議所トータルOAシステムによる情報共有)</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>【 評価割合 】</p>  <p>A : 目標達成 100.0% /</p>
<p>3. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</p> <p>(1) 小規模事業者経営改善資金貸付連絡協議会（年2回）</p> <p>(2) 岩手県内商工会議所経営支援情報交換会（年2回）</p> <p>(3) 東北六県商工会議所中小企業相談所長会議（年1回）</p> <p>(4) 岩手県事業承継ネットワーク会議（年2回）</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>【 評価割合 】</p>  <p>A : 目標達成 100.0% /</p>

【委員からの主な評価及び意見】

- 商談会やセミナー等、事業者の販路開拓や経営力強化に向けた取組を適切に実施しており、設定目標について、概ね達成しているものと評価できる。未達項目の内、「5. 事業計画策定支援後の実施支援に関すること」に係る3項目について、要因として生産コスト及び人件費の上昇の影響が未だ出ているものと思われるが、これらについては、県で設ける事業者支援制度について引き続き周知をお願いするとともに、事業者の要望を県施策に反映するため、意見の吸い上げ等についても協力いただきたい。商工会議所自体のマンパワーも不足していると伺っているが、研修等を通じ支援スキルの向上に努めていただき、厳しい経営環境下においても小規模事業者が健全な事業活動を行えるよう、引き続き事業者寄り添った支援をお願いしたい。
- 物価高騰、円安の進行等で事業者を取り巻く環境が厳しい中、計画に基づく事業を遂行し、未着手もなく9割近くにおいて目標を達成できたことは評価できる。また、小規模事業者持続化補助金採択事業者53者のうち、15者の経常利益が向上されたことは評価できる。
- 地域や事業者個々の課題の把握に努め、伴走型支援を通じて事業者と一体となって取組みがおこなわれていることは評価できる。取引先拡大支援においては実績はゼロだったものの商談中の件数が11件あり、息の長い継続支援が望まれる。事業計画策定、販路拡大など着実に成果が上がってきている。
- 価格転嫁による粗利の確保と事業のデジタル化が今後、益々緊急の課題となることが予想される。マル経融資に至るまでの経営指導支援の充実、事業DX化に向けたセミナーの充実を強く望む。